

## 第 5 回地域検討会（三重県）での指摘事項に対する対応（案）

### (1) 議題 1 第 4 回地域検討会議事概要及び指摘事項について

質問、コメント等は特になし。

### (2) 議題 2 三重県地域検討会報告書（案）（資料-3）

	指摘と対応
1	<p>【指摘】漂着経路について、GPS を用いて調査をした。その結果について、各関係地区、河川の流域の市町村への連絡はしてあるのか。県や市を通じて連絡しているのか。</p> <p>【対応】まだ確定した報告書ではないので、今後、最終報告書を県、市を通じて報告することになると思っている。</p>
2	<p>【指摘】「伊勢湾内に対流していた漂流ゴミの」という表現があるが、伊勢湾では陸からの流入と浮遊しているもの、海の底へ堆積しているもの、海岸線に打ち上げられているもの、それらをトータルとして考える必要がある。</p> <p>【対応】今後の検討課題としたい。</p>

### (3) 議題 3 三重県地域検討会報告書（案）（資料 4）

	指摘と対応
3	<p>【指摘】報告書には、ボランティアが 1 回当たり 27 人、そういう設定がされているが、これは調査期間中の話で、ベースにすれば試算は、より高いほうが私はいいと思う。</p> <p>【対応】単価を決めれば当然試算は可能である。問題は、その単価を一体どういう水準とするか。例えば、最低賃金をとるのか、ボランティアという意味でいうと、ほんとうの意味での謝礼みたいな意味でとするか、それとも通常の地元の平均給与とするかで変わるが、基本的には可能である。</p>
4	<p>【指摘】18～20 ページだが、陸起源については、「どこから来るのか」詳しく分析してあるが、海起源についてもどの海域からどのように来るのか記載いただきたい。</p> <p>【対応】答志島でのゴミを見る限り、ペットボトルなど、起源がわかるものについて見ると、日本国内のものがほとんどである。海起源は、今回の調査で実施した分析でも漁業や遊魚で使われる魚網や浮きの類がみられている。詳細な場所までの特定にはいたらないが、答志島の場合、少なくとも海外のものではなく日本国内のものが漂着していると理解している。</p>
5	<p>【指摘】ボランティアの参加の際には、旅費だけでもあると良いと考えている。</p> <p>【対応】いろんな方にボランティアとして参加していただくためには、相当さまざまな啓発活動であるとか、場合によっては今ご指摘のあったように実費の手当であるとか、そういったものも考えなければならないというふうに理解している。</p>

(4) 議題4 三重県地域検討会報告書(案)(資料5)

	指摘と対応
6	<p>【指摘】この報告書では、実績と提案が混同して記載されている。実際に行政職員で研修とか、森と海の交流とか、コンビナートも実績としてあるが、ここでやっていく体制として具体的に書くのはどうかと思う。この点については、実績と提案を分けて記載いただきたい。</p> <p>【対応】再度三重県と調整させていただきたい。</p>
7	<p>【指摘】鳥羽市として漂着ゴミの問題は、日本全体で取り組む必要があるが、国の実施事項の中に法整備を記載いただきたい。</p> <p>【対応】この地域検討会の報告書は、まず地域の取り組みとこのことを念頭に置いて作成している。第 章の部分でも国ができる部分、書ける部分はかなりあると思っている。その部分について、今後加えていくつもりである。</p>
8	<p>【指摘】各環境事務所にもう少し頑張っていたいただきたいという話もあるが。</p> <p>【対応】広域的な連携ということになれば、国のかかわる役割というものもあると思う。特に地方事務所もあるので、できるだけそういった枠組みに参加、関与していければいいと思っている。</p>
9	<p>【指摘】漂着ゴミの問題は、発生抑制が第一義的であって、仕方なく流れてきたゴミをどうしたらいいのかを地域で頑張ったりすればいい。この辺りに重点的な対策を検討いただきたい。</p> <p>【対応】発生抑制対策ですが、大変恐縮ですが、現時点ではなかなか書き切れていないことは事実である。地域的に可能なこと、全国的に可能なことを各地域で開催する検討会での議論を参考に検討したい。</p>
10	<p>【指摘】三重県農業基盤室として、奈佐の浜が農地海岸なので海岸管理者となっている。野焼きについては、海岸管理者が必要と認めたらという話の流れを持ち帰り、検討させていただきたい。清掃を答志島で実施する際、ボランティアを引きつける何かの仕組みを考えながらやっていくことが大事だと意見をさせていただく。</p> <p>【対応】報告書に記載することを検討。</p>

(7)その他連絡事項

特になし。